

2025年度
第8回 理事会議事録

2026年 2月 17日

一般社団法人 全国鐵構工業協会

2025年度 第8回理事会議事録

1. 日 時 2026年2月17日（火） 14:00～17:10

2. 場 所 全構協 第一会議室

3. 構 成 員 14名

4. 出席構成員 14名（別紙 出席者名簿参照）

5. 議事次第

(1) 開会の辞

(2) 定足数確認報告（定款第36条）

(3) 会長挨拶

(4) 前回理事会議事録の確認

(5) 審議事項

第1号議案 2026年度事業計画（案）承認の件

(6) 報告事項

1) 2026年度予算編成方針・前提について

2) 委員会等活動状況報告

① 運営委員会

② 「鉄骨技術に関わる改善・開発・人材育成のための助成制度」選考委員会

3) 青年部会との意見交換会について

4) 支部からの要望について

5) 2026年度主要会議予定について

6) その他（需要低迷対策について）

(7) その他の定例報告事項

1) 構成員登録状況

2) 着工面積と推計鉄骨需要量

3) 2025年度主要会議日程

4) 支部報告

(8) 閉会の辞

6. 議事要旨

(1) 開会の辞

進行役の山田専務理事より開会する旨が告げられた。

(2) 定足数確認報告

山田専務理事より、本理事会は 14 名すべての理事が出席されており、定款第 36 条（理事会の定足数）に基づく成立要件となる定足数が満たされていること、また、監事も 2 名全員に出席いただいていることが報告された。

(3) 会長挨拶

永井会長より「なかなか先が見えない状況ではありますが、今期も最終の時期を迎えており、引続き皆様のご協力をお願いいたします。」との挨拶があった。

(4) 前回理事会議事録の確認

山田専務理事が、2025 年度第 7 回理事会の要点を読み上げ、確認了承された。

(5) 審議事項

第 1 号議案：2026 年度 事業計画（案）承認の件

2026 年度 事業計画(案)承認の件について、議案書[理 25-8-議 1] (p3-12) にそって、事務局より下記内容が説明された。

- ・本計画は、1 月に発表している会長の年頭所感を基本として策定している。
- ・足元の環境が大きく動いており、基本方針については、もう少し環境を見定めた上で、まとめることとしたい。今後のスケジュールとしては、5 月の理事会で総会議案としてご審議いただき、最終 6 月の総会でご承認いただく予定。
- ・個別事業の会員共益については、「人材確保」、「すまいる職場認定制度」、「外国人材対応」、「人材育成」、「人づくり研修」「図面問題」、「情報発信強化」等について取り組むべき課題を整理している。
- ・また、「青年部会との連携強化」、「共済事業」についても織込んでいる。
- ・技術開発・普及事業では、「鉄骨技術に関わる助成制度」、「生産性向上」「S 造の推進」、「品質管理体制の強化」等について整理している。
また、技術力強化支援の各施策についても、引続き活動を実施する。

共済事業について、青年部会の協力に関する提案があり、計画に反映する方向で修正を行うこととした。

本案は、原案通り承認された。

(6) 報告事項

1) 2026 年度予算編成方針・前提について

2026 年度予算編成方針・前提について、配布資料 (p14-15) にそって事務局より説明され、確認された。内容は以下の通り。

- ・第 1 号議案にてご承認いただいた事業計画を前提として、予算を作成する。

- ・ 予算策定の前提として、会費については規程に対し10%減額、構成員数等については足元2025年度末想定を起点として策定する。
- ・ 予算に織込む2026年度の取組みとして、技術関連では「品質管理責任者講習の費用補助」、技術委員会関連等を考えている。また会員共益関係では、運営委員会関連として「凶面問題」、「すまいる職場」等に関する費用を予算化していく方向。従来から継続している「賛助会員との懇談会」、「青年部会との意見交換会」等についても反映していく予定。
- ・ 更に、「青年部会との連携活動」についても予算化していく方針。
次回3月の理事会にて、具体的な数値について説明をさせていただく。
尚、今回の予算に関する報告の中で、会費の在り方、各地域組織の運営方法等についても議論が行われた。

2) 委員会等活動状況報告

① 運営委員会

運営委員会について、議案書(p16-17)に沿って、妹尾委員長より、以下の内容が説明され確認された。

- ・ 保険制度に関する勉強会実施報告。
- ・ 凶面問題に関しては、弁護士との協議内容等も踏まえ、修正状況が報告された。
- ・ 「スマイル職場(認定制度)」については、チェックシートの最終確認状況と今後の予定について報告があった。
- ・ 人づくり研修については、2026年度の実施に関する検討状況と案内パンフレット作成に関する報告があった。

② 「鉄骨技術に関わる改善・開発・人材育成のための助成制度」選考委員会

2025年度選考委員会について、議案書(p18-19)と別紙に沿って、事務局より内容が説明された。

- ・ ここ2年程応募がなかったが、制度の見直しにより今年は4社の応募あり。
- ・ 4社中3社を採択、1社不採択とした。
- ・ 採択した3社についても効果検証等について更に深掘する様要請し、前向きな回答を得ている。
応募されたテーマについて、助成金額、内容等について、出席した理事から質問があった。

3) 青年部会との意見交換会について

明日開催される青年部会との意見交換会について、出席者、進行方法等について説明があった。

4) 支部からの要望について

関東支部からの要望について、議案書 (p20)に沿って、安達理事より、以下の内容が説明され確認された。

- ・ 外部団体との意見交換・交流事業について、各県とも力を入れてやっていきたいとの意向があり、会場費等の開催関係の経費について補助をお願いしたい。

各地域の実施状況、各組合と全構協の各機能の考え方等も確認する必要があり、執行部で検討することとした。

5) 2026 年度主要会議予定について

主要会議日程に関して、配布資料(p21)に沿って、理事会その他主要行事予定が確認された。尚、2026 年度の新たな取組みとして、7月の新体制での第1回理事会時に協会活動に関する情報提供を実施することが提案された。

6) その他（需要低迷対策について）

足元の非常に厳しい事業環境を踏まえ、永井会長より、「不況突破大会」の開催について提案があり、引続き協議することとした。

(7) その他の定例報告事項

1) 構成員登録状況

構成員数は、前回報告時(1月理事会)に対して、登録1社、減少3社、差引2社減の2,120社であること等が、議案書(p23-27)により報告された。

2) 着工面積と推計鉄骨需要量

2025年度12月の鉄骨推定所要量が出まして、4月 - 12月の前年比では、92%ということでマイナス8%という状況となった。

3) 2025 年度主要会議日程

主要会議日程が、議案書(p29)により確認された。

4) 支部報告

[九州]

- ・ 先々の案件がかなり出てきている。2026年の後半から2027年にかけてはそれなりに忙しくなると想定。やや安心している。

[四国]

- ・ 案件的には来年には動き出しそうな状況。一方、足元は我慢の時間。

〔中国〕

- ・ 仕事は少ないが、各県比較的落ち着いている。鉄骨以外の仕事で忙しい状況。

〔近畿〕

- ・ 2026 年前半は仕事が非常に少ない。但し、後半から 2027 年は仕事出そう。雰囲気も改善しつつある。足元は低空飛行なので当面凌ぐしかない。データセンター、IR 等も動きだしている。

〔中部〕

- ・ 名鉄の案件が無くなった関係で状況は非常に悪い。一方、今年後半には仕事が出てくると期待。

〔北陸〕

- ・ 厳しい環境ではあるが、少し仕事が出てきた。特に、関東、関西の案件が動き出すと、北陸も潤うのではと期待している。

〔関東〕

- ・ グレード別に仕事の片寄りがあるが、全体としては首都圏案件もあり、今後仕事は出てきそう。但し、単価が安いので要注意。

〔東北〕

- ・ 地域差はあるが、状況は悪くはない。踏ん張りどころか。

〔北海道〕

- ・ バラツキはあるも、稼働率もやや向上。来年に向けて仕事出そう。
- ・ 炭酸ガス不足の懸念が続いている。

(8) 閉会の辞

以上をもって、審議事項、報告事項等、予定された事項が終了したので、議長は閉会を宣し散会した。

以 上

(別 紙)

出席者名簿

会 長	永 井	毅
副 会 長	大 竹	良 明
〃	板 垣	昌 之
専務理事	山 田	安 彦
理 事	竹 原	慎 雅
〃	三 浦	隆 宏
〃	安 達	次 雄
〃	前 田	正 美
〃	稲 垣	法 信
〃	佐 野	勝 也
〃	妹 尾	一 人
〃	登 尾	昌 弘
〃	岩 永	洋 尚
理 事(相談役)	米 森	昭 夫
監 事	村 上	眞 樹
〃	吉 岡	晋 吾

理事総数	14名	うち出席者	14名
監事総数	2名	うち出席者	2名